



平成18年12月26日

各 位

会 社 名 株式会社パシフィックネット
代表者名 代表取締役社長 上田 満弘
(コード番号 3021 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部門担当
氏名 菅谷 泰久
(電話番号 03-5730-1442)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年10月4日に公表いたしました平成19年5月期中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期の業績予想数値の修正 (平成18年6月1日～平成18年11月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,930	234	122
今回修正予想(B)	1,790	116	61
増減額 (B-A)	△140	△118	△61
増減率(%)	△7.2	△50.2	△49.4
(ご参考) 前期実績 (平成17年11月中間期)	1,665	188	125

(注) 平成19年5月期中間の業績は現在精査中であり、本表は業績予想であります。
なお、正式発表は平成19年1月15日を予定しております。

2. 通期の業績予想数値の修正 (平成18年6月1日～平成19年5月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,028	477	257
今回修正予想(B)	3,641	258	140
増減額 (B-A)	△387	△219	△117
増減率(%)	△9.5	△45.8	△45.2
(ご参考) 前期実績 (平成18年5月期)	3,488	404	231

3. 修正の理由

(1) 中間期の業績予想

平成19年5月期中間の業績予想は、売上高が1,790百万円となり、前年同期比125百万円(7.5%増)増加したものの、平成18年10月4日に公表いたしました中間期の売上高予想1,930百万円に対し、140百万円(7.2%減)減少と予想を下回る見込みであります。

これは事業環境の変化に起因するもので、中古市場の拡大基調に変化はないものの、当社の主要な仕入先であるリース会社において、情報通信機器のリース取扱高が前期に比べ大幅に減少したことにあります。この結果、予想通りの商材が確保できず、売上高が予想を下回りました。

利益面においては、中古市場での商材不足から、予想通りの商材が確保できなかったことのほか、仕入価格が上昇したことによる売上総利益率が悪化したため、平成18年10月4日に公表いたしました予想利益を大幅に下回り、経常利益は116百万円、当期純利益は61百万円となる予想であります。

(2)通期の業績予想

通期予想につきましても、売上高3,641百万円、経常利益258百万円、当期純利益140百万円に下方修正といたします。

下期の業績については、パソコンの入替え需要が上期に比べ改善することが期待されるほか、ネットオフ(株)、(株)ゴルフパートナー、(株)ZOA、(株)アップガレージとの業務提携を推進するとともに、引き続きリース・レンタル会社、一般法人、公共機関、個人及び家電量販店への積極的なアプローチを継続して行い、中古パソコンの仕入れ及び販売を強化いたします。

なお、マイクロソフト社の新OS「ウインドウズ・ビスタ」が来年の1月に発売される予定で、この発売によるパソコンの入替えは、発売後の半年若しくは一年後から本格化すると予想されますので、商材回収拠点の全国展開を活かし、仕入経路を更に強化することにより商材が安定的に確保される見込みであります。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、様々な要因により、この業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

以上